

並木健康くらぶ通信

並木病院 看護部教育委員会 平成30年1月 第9号



「昭和医箴」 (医のモラル)

並木病院 院長 赤津拓彦

医は仁の発露たるべきですが一人の医師が 365日、24時間、常時実践することは無理です。しかし、できる限り困っている人達の助けになりたいという気持ちは持ち続けています。疲れや壁に当たり、逃げたくなりそうな際に、私は箴言、「昭和医箴」を唱えます。医師としての初心を呼び覚まし、エネルギーを注入してくれる文書です。年初に当たり、御紹介したいと思いました。

「凡そ医たる者其診療所を學術研究の道場精神修養の聖堂と心得日々其業務に盡粋(じんすい)し濟生救民の誠を致すべし」「医学の興隆分化の精極まりなし方今(ほうこん)医たる者堪能なる一分野を有すると共に廣く知見を各科に求め偏見無きを要す」「医は冷厳なる科学の知識を基礎とす然りと雖とも人生自ずから機微なる者あり医人須らく学徒の衿持(きょうじ)を失はず情意並び行はるべし」「患者の性格環境の差は治術に関する所大なり 治法人に即して適切なるべし慈眼を以て起死回生を圖るを要す」「診断豫後を告ぐるに慎重なるべし特に大患不起の際に於て然りとす眞実を内に蔵し慰安と光明とを與ふ是亦仁心の発露なり」「治療の支障なき限り費用の軽減を圖るべし特に慢性長期に渡る時に於て然とす經濟に意を用ふ是亦仁の端なり」「學術精研なるも孤高狷介(けんかい)世に容れられざるあり医たる者常識を涵養し世情に通ずべし然りと雖とも卑俗に墮する勿れ」「同業に対しては老若序を重んじ互いに敬愛し医風の向上社會的地位の確保に努むべし特に對診會同の際に於て然りとす」「時運の進展に伴ひ關係法規日々多し余閑を割き習讀すべし世態錯雜一片の情実須臾(しゅゆ)の怠慢不測の過誤に陥る勿れ」「医の究極の使命は同胞の保健と人類の繁栄とに存す國家公共社會衛生施設を指導し恒に公衆と俱に在るを要す」

医箴(いしん) 然りと雖とも(しかりといえども) 圖る(はかる) 豫後(よご) 是亦仁心の(これまたじんしんの) 容れ(いれ) 涵養(かんよう) 勿れ(なかれ) 社會(しゃかい) 余閑を割き(よかんをさき) 錯雜(さくざつ)

並木健康くらぶ講習会 第7回



日時: 11月18日(土)
講師: 白砂副看護師長
テーマ: 感染症予防について
~うつさない、うつらないために~

インフルエンザやノロウイルスの対策として手の洗い方・マスクの付け方を実際に体験しました。

第8回講習会のお知らせ

日時: 2月24日(土)
11:00~11:30
講師: 根岸看護主任
テーマ: メンタルヘルスケアについて



アロマセラピー講習会のお知らせ (予約制)

日時: 平成30年 1月27日(土)
10:00~12:00
テーマ: 睡眠とアロマセラピー
講師: 西井貴誠医師



1位の神山・伊藤ペア



忘年会(12月8日)での余興 「二人羽織」の様子



大槻さん 三上さん 赤津院長 伊藤さん 神田さん
中村さん 斎藤さん 高野看護部長 神山さん 藤原さん

見事な連携プレーでケーキを食べさせてくれました。さすが地域連携室ですね!! ちなみに、昨年の医療安全推進週間標語で病院長賞を獲得したのも伊藤さんです。伊藤さんの医療安全の標語を紹介します。「幾度にも すすんで挑戦 プロ意識」



編集後記 新年、おめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。どんな初夢をみましたか? 初夢にいいとされるのは、1富士 2鷹 3茄子ですね。右の写真は並木病院から見える富士山です。晴れた日の朝綺麗に見えます。教育委員: 高野委員長、大山副委員長、今井、高橋(由)、根岸、渡部、橋本、中嶋、白砂

